

福岡病院での診療情報を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究代表者	小児科医師 小田嶋 博
2. 研究課題名	過敏性肺炎の全国疫学調査
3. 研究の概要 (個人情報の利用の目的)	<p>本研究の内容は東京医科歯科大学医学部倫理審査委員会においても承認を得て実施されます。種々の抗原によって発症するアレルギー性の間質性肺炎を過敏性肺炎といいます。線維化の進んだ線維性過敏性肺炎の平均生存期間は3年弱と重症です。また、本症は小児期にも発症し肺移植受けている患者さんもいますが小児から成人に至る詳細な臨床増は明らかにされていません。今回日本呼吸器学会で作られた「過敏性肺炎診療指針2022」に基づいて調査を行い正確な有症率及び罹患率、疾患特性を明らかにしたいと考えています。今回の研究はこの10年間行われていなかった調査を「過敏性肺炎診断指針2022」に基づいて行い①この指針の検証、改定に向けた調査、客観的な診断基準・重症度分類の策定、②有症率・罹患患者数の推定、③小児から成人への移行期医療体制の構築、を行うことを目的とします。</p> <p>本来なら患者さんに個別にご説明したうえでご同意をいただくと上記のように患者さんが小児期においては少なく、上記の、目的のためにはできるだけたくさんの患者さんの情報を得る必要があります。患者さんの診療録から以下の情報を取得します。 ①生年月日、②性別③年齢、④人種地域⑤喫煙⑥暴露抗原情報⑦家族歴⑧既往歴⑨発症様式⑩自覚症状⑪血液検査、呼吸機能、6分間歩行試験X-線」試験結果、CT所見などこれらは過去に行ったものを採用します。新しく行っていただくことはありません。</p> <p>研究期間(データ収集期間)2022年8月18日から2027年3月31日</p>
4. 使用する診療情報	上記内容 対象診療期間 2021年1月1日～2021年12月31日
5. 使用する検体	情報は個人が特定できないように番号に置き換えられ匿名化し上で研究が責任を持って10年間、背帰任者の研究室に保管完治されます。期間を終えた検体は匿名のまま廃棄されます。
6. 病名	線維性過敏性肺炎または非線維性過敏性肺炎

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会等において厳重に審査され、承認されています。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

国立病院機構福岡病院管理課
 管理課長

住所 : 〒811-1394 福岡市南区屋形原4丁目39-1

電話: 092-565-5534

FAX: 092-566-0702

(お問い合わせは、なるべく、FAX又は郵送でお願いいたします。)